

## 生活に欠かせない税金

筑西市立関城中学校

一年 日下部 由依

私たちは、消費税や所得税などの、多くの税金を払っています。そこで、私たちが納めた税金はどのようなことに使われているのかについて興味を持ったので、税金の使われ方などを調べてみました。

私は前、買い物をしたときに消費税を払わなくてはならないのは少し嫌だなと思っていましたが、税金について色々調べたり、租税教室で学んだりして、考え方が変わりました。税金は、私たちの身近なところでもたくさん使われているのです。例えば、普段私たちが通っている学校も税金で造られています。また、公立中学校の生徒の教育費は、一人あたり約百万円以上にもなるそうです。とてもたくさん税金が使われていると知って驚きました。私たちが学校へ行って勉強をしたりできるのも、税金のおかげだと分かりました。また、病気やけがをした時の病院での治療費にも税金が使われていることを知りました。つまり、税金は私たちが安心して便利な生活をするためだけでなく、人々の健康や命を守るためにも使用されていることがわかりました。

令和二年度の当初予算では、歳出総額の約三分の一が「社会保障」となっていることが分かりました。そこで、私は社会保障につ

いて調べてみました。社会保障とは、私たちが安心して生活していくために必要な公的サービスのことで、医療、年金、介護、福祉などの仕組みのことだそうです。また、日本では近年、少子高齢化が進んでいます。それにより社会保障の費用が増えたり、その費用を負担する働き手が減っていたりすることが問題になっているそうです。

私たちが、老後の安定した生活や健康で文化的な生活を実現するためには、多くの費用を必要とします。なので、もっと税金を有効に使用するために私たちができることについて考えてみました。一つ目は、病気やけがをしないように気をつけて、医療費の負担を減らすことです。病気の予防を心がければ、私たちは健康に過ごせて、医療従事者の負担も減らすことができます。良いのではないかと思います。二つ目は、公共の施設や物を大事に使用することです。みんなが大切に扱えば、あまり壊れたり古くなったりしなくなったりして、修理費を減らすことができると考えたからです。

私は、はじめは消費税などの税金に対してあまり良いイメージをもっていませんでしたが、税金について色々なことを調べてみて、税金は私たちの生活に必要なものなのだと分かりました。これからも、私たちが安心して生活できるように、しっかり納税していきたいと思います。